

第 59 回 大阪府医療審議会 議事概要

- 1 開催日時：令和 6 年 3 月 28 日（木）午後 4 時 30 分から午後 6 時
- 2 開催場所：国民會館大阪城ビル 12 階 大ホール
- 3 出席委員：26 名（委員定数 27 名、定足数 14 名であるため有効に成立）
出席専門委員：7 名

出席委員：栗津委員、生野委員、乾委員、梅田委員、岡沢委員、加納委員、川崎委員、川隅委員、河村委員、北村委員、木野委員、黒田委員、阪本委員、高井委員、田中（京）委員、田中（喜）委員、塚田委員、津田委員、道明委員、中尾委員、長尾委員、長濱委員、弘川委員、深田委員、福岡委員、山下委員、泉谷専門委員、中専門委員、西川専門委員、博多専門委員、藤江専門委員、藤本専門委員、保田専門委員

4 議題

（1）第 8 次大阪府医療計画（案）について

<審議結果>

第 8 次医療計画について、答申（案）のとおり本審議会の答申とすることを確認。

また、大阪府地域医療介護総合確保基金事業の報告について、在宅医療推進部会への報告をもって本審議会への報告として取り扱うことを確認。

<委員意見等>

- 北河内地区から出た意見を申し上げる。基準病床数について、平均在院日数を近畿ブロックの 15.5 日から大阪府の実態を踏まえて 14.3 日にしたことが、不必要な病床数が多くなったと言われる所以かと思うが、交野市長より、一概に平均値で判断するのではなく、地域性を考えた計画を立ててほしいとのご意見があった。
- また、病院経営者からも、今後、平均在院日数 14.3 日を算定で用いるのが誤りとなる可能性があるというご意見があった。例えば、これまでは、患者が退院した後、すぐに準備をして次の入院患者を受け入れられていたものが、働き方改革によるマンパワー不足により、受け入れ準備に時間を要し、病床を使えない期間が増えるのではないかと。病床が使えない期間を踏まえ、基準病床数をもう一度計算してほしい。

<大阪府回答>

- 交野市長からの地域性を考慮していただきたいというご意見について、基準病床数の設定は二次医療圏単位ではあるが、二次医療圏の中でも地域によっては診療科ごとの濃淡等があるかと思う。地域の協議の場や病院連絡会等において、診療科別にどのような実態があり、それを踏まえてどう連携していくか、引き続き地域の医療機関にご意見等を頂戴しながら検討を進めていきたい。

- 基準病床数の算定について、国の平均在院日数の設定方法を参考に、2015年から2019年における平均在院日数の傾向を大阪府の数値に照らして設定させていただいた。今後も疾病構造の変化等が予想されるため、毎年、最新の医療需要動向を踏まえ、基準病床数の見直しについて、保健医療協議会等で検討していく。
- 働き方改革を踏まえて検討するべきではないかのご意見について、医師の時間外労働上限規制開始後の地域の医療体制については、実態把握に努め、毎年ご協力いただいている病院プランなどのデータを分析・可視化を行い、病床機能の分化・連携のあり方について協議を進めていきたいと考えている。

(2) 令和5年度「地域医療構想」の取組と進捗状況について

<審議結果>

医誠会に対し、過剰病床への転換の見直し等について、引き続き働きかけを行うことを確認。また、その他の医療機関については、引き続き、府が医療機関の自主的な機能分化を支援し、地域医療構想の取組を進めていくことを確認。

<委員意見等>

- 医誠会病院について、府の度重なる指導に従わないということだが、引き続き大阪府から何らかの要請等をするのか。府の指導に従わない状態が続いているので、再度文書等で指導していただきたい。大阪市が所有していた土地に建てた病院であり、加えて大阪・関西万博にも関わりを持つと聞いているので、きっちりとした指導文書等で対応していただきたい。

<大阪府回答>

- 医誠会病院に対してはこれまで2度知事からの指導文書を発出しているところ。その後も折に触れて病院から状況の聞き取りを行うとともに、本年2月の保健医療協議会にも出席いただいて、開院後の状況を報告いただいている。昨年10月に新病院が開院しているものの、新病院に対しても病床機能等の再検討について、引き続き働きかけるとともに、新病院開設後の実態把握に努め、本審議会でものご意見を踏まえ、必要な対応を検討していく。

(3) 箕面市立病院新築移転に伴う病院再編計画（案）について

<審議結果>

箕面市立病院の再編計画案について、本審議会として意見がないことを確認。また、今後厚生労働省協議の過程で修正等がされることも予測されるため、今後の調査審議を病院新增設部会に委ねることを確認。

<委員意見等>

○特になし。

5 報告事項

(1) 医療法人部会の結果について

医療法人部会阪本部会長から報告。

(2) 病院新增設部会の結果について

病院新增設部会中尾部会長から報告。

(3) 在宅医療推進部会の結果について

在宅医療推進部会中尾部会長から報告。

(4) 働き方改革部会の結果について

働き方改革部会中尾部会長から報告。

(5) 大阪府地域医療介護総合確保基金事業（医療分）について

在宅医療推進部会中尾部会長から報告。

6 その他

<委員意見等>

○警察医をしている。昨年の検案のうち自殺によるものは11件だったが、今年は本日時点ですでに11件である。特にこの1週間では5件、自殺によるご遺体の検案を行っている。大変なペースかと思うので、もし大阪府全体でそのような事態が起こっているのであれば、緊急事態宣言等により対策をしていただきたい。

<大阪府回答>

○府では、様々な形で自殺対策の取組をしているところ。令和5年については、暫定値で、総数としては前年よりは少なくなっているが、それでも1,000人を超えている。引き続き、医療機関や関係機関の皆様と連携しながら、様々な対策、周知・啓発、相談対応等に、取り組んでいきたい。